

一関工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	分野専門セミナー
科目基礎情報						
科目番号	0016		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	未来創造工学科（電気・電子系）		対象学年	4		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	使用しない					
担当教員	山下 将嗣					
到達目標						
① 卒業研究のための基礎的な研究方法や問題解決の手法を身につける。 ② 創造性を発揮し、自主的・継続的に研究に取り組む姿勢を身につける。 ③ 研究成果の発表の仕方や、報告書を作成のやり方を身に着ける。						
【教育目標】 A、C、D、E						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
研究計画・文献調査	研究および関連分野の文献調査等を行い、自主的に研究計画を立てることができる。		研究および関連分野の文献調査等を行い、指導教員の手助けを受けながら研究計画を立てることができる。		研究および関連分野の文献調査等を行い、基礎的な研究計画を立てることができない。	
自主性、継続性	自主的・継続的に研究を実施し、課題解決に取り組むことができる。		自主的・継続的に基礎的な研究に取り組むことができる。		自主的・継続的に基礎的な研究に取り組むことができない。	
報告書作成	実施した研究について優れた報告書を作成することができる。		実施した研究について基本的な報告書を作成することができる。		実施した研究について基本的な報告書を作成することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育目標 A 教育目標 C 教育目標 D 教育目標 E						
教育方法等						
概要	・ 配属研究室の指導教員の研究指導を受けながら、研究テーマを設定し、研究テーマに沿った例えば、文献調査や様々な研究実施の方法を習得することで、5年生の卒業研究に必要な基礎的な研究方法および問題解決の手法を身に付ける。 ・ 習得した研究に関する様々な知識や技術をまとめ、報告書を作成し、発表する。					
授業の進め方・方法	各研究室の指導教員の指導を仰ぎながら研究を実施する。 他と協調して問題を解決するデザイン能力および多面的に物事を考える能力を養う。					
注意点	【評価方法・評価基準】 指導教員が報告書の内容（100％）で評価する。 総合成績60点以上を単位修得とする。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
後期	3rdQ	週	授業内容		週ごとの到達目標	
		1週	ガイダンス、研究室ごとの研究内容説明		各教員の研究内容について理解することができる。	
		2週	研究室ごとの研究内容説明、研究室配属		各教員の研究内容について理解することができる。	
		3週	研究実施		研究テーマを設定し、研究計画を立てることができる。 自主的・継続的に研究を実施することができる。	
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
	4thQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週	報告書作成		実施した研究内容をまとめ、報告書を作成することができる。	
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合						
		課題		合計		
総合評価割合		100		100		
基礎・専門的能力		100		100		